

大学機関概要

- 代表者 / 三浦 友史
- 所属 / 地域防災実践研究センター
- 専門分野 / 防災、減災
- Email / chiiki@jcom.nagaokaut.ac.jp
- 担当者 / 竹樋 佑紀

 長岡技術科学大学地域防災実践研究センター 介
護施設のリモート避難支援システム

TEL:0258-47-9391/ FAX:0258-47-9900

<https://www.nagaokaut.ac.jp/center/chiikibousai/index.html>

〒940-2188

長岡市上富岡1603-1

こんな組織と繋がりたい

- 避難訓練の実施に困っている介護施設
- 介護施設の支援を担う行政・保険会社等



PR

販路

産学

情報

人材

手軽なりモート訓練で災害対応力を強化・見える化

▶ 研究内容の特徴

自然災害の多い日本では、水防法等により介護施設では避難計画立案が義務付けられ、避難訓練の実施が求められている。しかし、実施施設を利用した実避難訓練では、訓練の負担が大きく実施は限定的である。机上訓練では実施負担は少ないものの、臨場感の向上が課題である。また、現状の実避難訓練、机上訓練共に指導者の確保、訓練の記録と客観的評価が課題である。開発したシステムは、ウェブサイト上でボードゲーム型の避難訓練を実施できるものであり、避難手順の訓練に役立つ。訓練対象となる介護施設要員と訓練指導者もリモートで参加可能であり、実施の負担は少ない。開発システムでは訓練時の負荷調整、訓練の記録も容易である。

▶ 技術アピール・マッチングニーズ

- ・ボードゲーム型の避難訓練で、画面上のメッセージとアイコンを用いて直観的に操作が可能
- ・一般的なノートPCやタブレット端末から遠隔参加可能であるため、訓練実施に対するハードルの低減が期待できる
- ・訓練記録の見直し機能により客観的評価、振り返りが可能
- ・負荷調整が容易に行えることにより、訓練参加者のレベルに応じた訓練が実施できる
- ・訓練結果の客観的評価により、施設の避難対応力の見える化が可能
- ・訓練結果の可視化により、避難タスク達成に向けた課題の抽出が容易に行え、訓練参加者の能力向上に寄与
- ・AI導入に必要な訓練結果の定量化とその記録が可能であり、AI企業とのマッチングによる自動化・効率化を期待

ココがすごい！

